

「学校給食を有機食品に、および有機農業振興策の検討」に関する陳情

〔願意〕

学校給食を有機食品で賄っていただきたい。また、市民の健康と食の安全保障のために地域有機農業の振興に急いで取り組んでいただきたい。

〔理由〕

日本ではまだまだですが世界では有機農業が主流になりつつあります。理由は健康と地球の持続性です。もともと日本にあった伝統的な農法がベストであるということで、その回復と発展が焦眉の課題です。

日本の食品は規制が甘く農薬まみれということは有名です。ネオニコチノイドは神経系統をかく乱し虫などの命を奪う。害虫だけを殺すわけではなく、すべての生き物を殺し、人間にも多大な害を及ぼします。二人に一人はガンになり、子どもの発達障害が増えています。アレルギーを持たない人は少ないのではないのでしょうか？ また、直接の影響だけでなく多くの虫が絶滅しています。これは虫による花粉運搬で生きている植物を絶滅してゆきます。有名な生物学者である E. ウイルソン博士は「人間が絶滅しても1万年前の地球に戻るだけだが、虫が絶滅したら億年来の生態系は大混乱するでしょう。」と述べています。

次世代を担う私たちの子供たちの健康のためにまず学校給食を有機食品にしてください。そうすることによって地域の有機農業も生まれ変われます。それと並行して地域の有機農業の復興に本腰を入れてください。前回の陳情では船

橋における有機農業があまりに少ないがゆえに地産の有機食品では不可能という理由が多かった故、今回は地産にこだわらず、まずは子供たちの健康第一に有機給食を早急に実現すようお願いいたします。千葉県でもすでに先例があり、やればできること、船橋市の評価をあげることにもなります。

温暖化の進行は加速しており、食料を輸入に頼っている日本人の食は非常に危うい。地産地消自給自足を目指し、命と健康と環境を守ることを第一の政策とすべしで、その第一歩としていただきたい。